

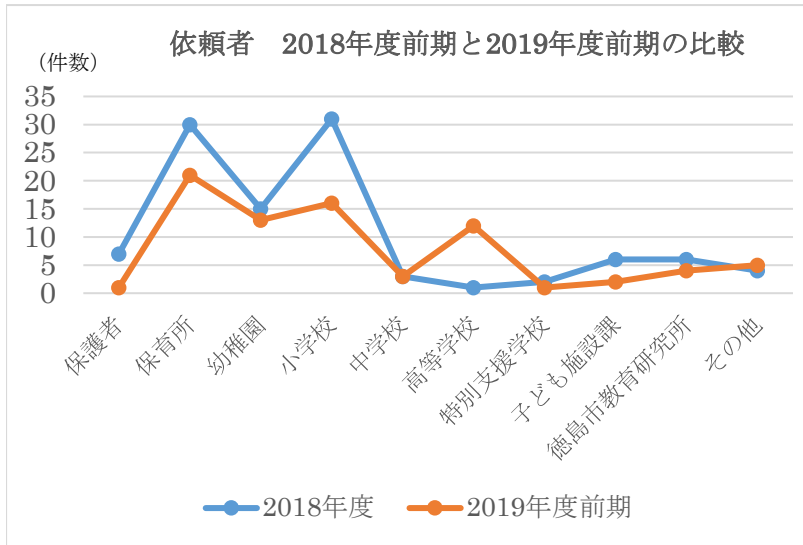


今回の教育相談だよりは、校外支援の件数と夏季公開研修会のアンケート結果についてお知らせします。

本校、センター的機能における、2019年度4月から9月までの校外支援の実施件数は78件でした。昨年度は、105件でした。以下に、依頼者と依頼内容をお知らせします。

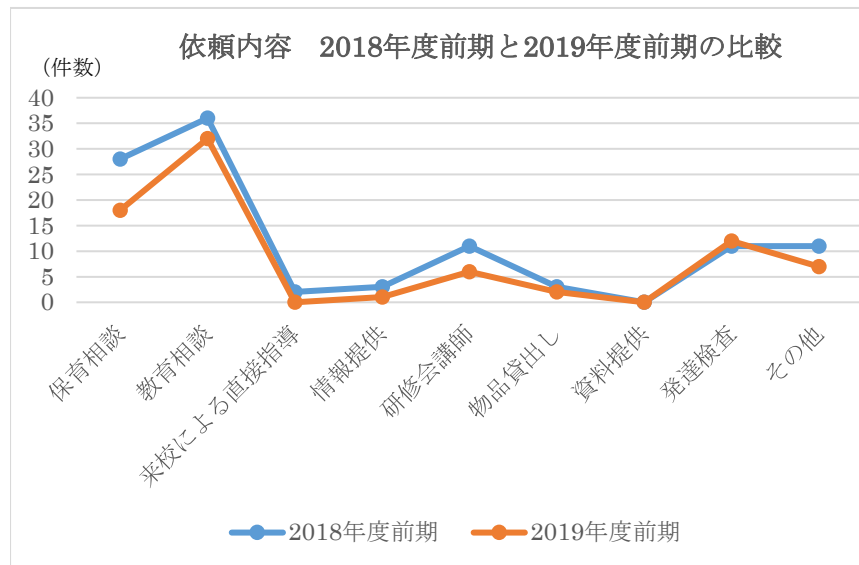
1. 依頼者

	保護者	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	子ども施設課	教育研究所	その他
件数(件)	1	21	13	16	3	12	1	2	4	5
割合(%)	1	27	17	21	4	15	1	3	5	6



2. 依頼内容

	保育相談	教育相談	来校・直接指導	情報提供	研修会講師	物品貸出し	資料提供	発達検査	その他
件数(件)	18	32	0	1	6	2	0	12	7
割合(%)	23	41	0	1	8	3	0	15	9



2019年度前期の校外支援のべ実施件数は、2018年度と比較すると少なくなっています。保育所と小学校からの依頼が少なくなったことが影響しています。逆に、高等学校からの依頼の数は増えています。

2019年度前期の依頼者は、保育所、小学校、幼稚園、高等学校の順に多くなっています。件数は少ないですが、保護者、中学校、特別支援学校、子ども施設課、徳島市教育研究所からの依頼もありました。

2019年度前期の依頼内容は、教育相談、保育相談、発達検査の順に多くなっています。研修会講師、物品貸出し、資料提供については、例年程度の依頼がありました。

実施件数は昨年度より減りましたが、両年度とも、保育所と小学校の依頼が多かったことから、本校のセンター的機能を考えると、今年度も、就学前の幼児と就学後の児童の相談のケースに対応できる力が求められると考えます。具体的には、早期発達支援、通常学級の中で個別的な教育的ニーズがある子どもたちへの支援の方法等、学んでおくことが必要です。発達検査の依頼も多いので、検査スキルの習得も必要であると考えます。また、高等学校からの依頼が増えたので、高等学校の現状や「通級による指導」がどのように行われているかを知っておくことも大切です。今後の「教育相談だより」でお伝えします。